

あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

〇〇26



県内ほとんどの学校が夏休みに入りました。夏は受験の天王山、志望校を決め本格的に専念かと大人は思いがちですが、「やりたいことがまだ決まっていませぬ」「将来のことはまだ」というもゆとり教育世代の子たちは様子が違います。

目標とメソッド

先日、通信制高校3年の塾生が母親に付いて久しぶりに登塾しました。高3もこの夏が進路決定の時期です。「前回話した専門学校、やめませぬ」といきなり本題から話し始めました。「専門の受験やめて次どうする?」「と聞いてみると、「うん、就職。」と。「あっ、就活してらんだ」と水を向けると、「いえ、やりたいものが見つからんくて。」と。

選んだ道磨くのが人生

意識した子はたくましく



by yoriko

「フリーターへの道だね。人生メソッドが大切。高3の夏がメソッドの輝く、やりたいものなんかないんだよ。二者択一で選んだ目の前の道を磨いていくのが人生だ!」とアドバイスし帰りました。「子どものやりたいことをやらせたい」と傍らではほ笑んでいた母親の表情が帰り際には真剣になっていました。

例年5月の連休明けと夏休み明けに不登校になる子が増えます。塾にもその相談が寄せられ、特に義務教育を終えた高校生の不登校では中退、そして就職という難しい局面を迎えます。子どもたちの関心意欲

の低さと進路のミスマッ치는見過ごせない深刻な問題なのです。昨年、13人の通信制に在籍する高3生の進路指導に携わりました。その中から11人が大学などに進学し、大半が春から親元を離れ一人暮らしをしています。不登校は心の問題、進路の問題とよく言われますが、私は「家庭の在り方」の問題だと考えます。不登校のご家庭の進路指導に携わってきた言えることは、子どもは親を悲しませたくないと思

65年前にキールバート・が描いた絵本「ヤトーマス」子どもたちにテレビのアニメは120カ国されている。具や衣料など商品が数多く人間関係の父親を子どもなられるのが人よつだ。

しかし、いつかは親元を離れ自活し、社会で活躍したいと漠然と願っているということ。不登校は家庭のゆがみを修正し、押し戻そうとする子どもの心であり行動なのかもしれませぬ。目標とメソッド意識した子はたくましく育っていきます。

(畑山篤志学塾塾長) 物語は英「ソドー島」関車を擬人化スを主人公に機など100のラクターが啓物同士や人々描かれる。73年に絵

教育

送)もあります。

5千円前後からです。

もし、家のテレビ画面の上下に黒い帯が見えていて、右上に「アナログ」の文字があったら、それはアナログ放送です。アナログ放送は終わってしまふので、それしか映らないテレビを使い続ける



ニュース なぜなに